

2024年  
4月開設  
(予定)

# 工学部 工学科

[※仮称 設置構想中]

情報システム工学専攻 / ロボティクス専攻

入学定員  
100名  
(予定)

## 人や社会をテクノロジーと共感でつなぎ 課題解決のデザインをするエンジニアを育てます。

環境問題、貧困問題、人口減少、紛争激化……現代、そしてこれからの課題山積な50年間。人々に共感し、テクノロジーとコミュニケーションで社会課題の解決をリードするエンジニアが求められています。

2024年に開設される工学部(仮称・設置構想中)では、デザイン思考を中心に据え、デジタル技術を駆使して課題を解決する工学教育を展開します。社会や人が直面する課題の本質を見据えた、未来の幸福に寄与する「愛ある工学」が始動します。

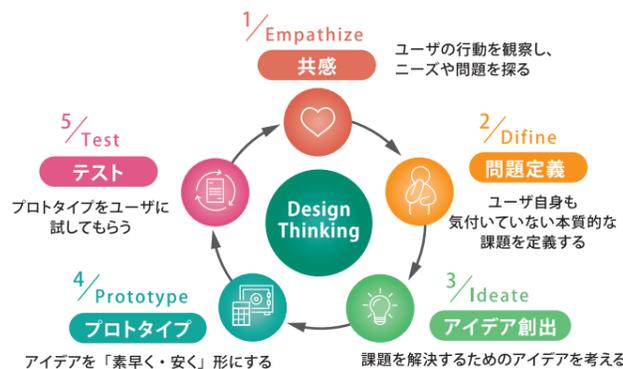


麗澤大学 工学部校舎完成予定図

What's /

### デザイン思考とは？

問題解決をゴールとし、共感、問題定義、アイデア創出、プロトタイプ、テストを繰り返してソリューションを生み出す思考法です。バイアスや固定観念を取り去り、前例にも捉われないことが特徴となります。



### 育成をめざす人物像

- ✓ デジタルを駆使した課題解決のための技術的知識・経験や研究開発力を備えている
- ✓ 課題の発見、共感・理解を経て解決にいたる道筋をデザインし、技術力を活かしてそれを実現できる
- ✓ 多様な価値観・社会規範があることを理解した上で、それらをリスペクトしつつも自らの倫理観をしっかりと持ち、社会的により適切な解決の方向を議論・提案できる
- ✓ 基本的な知識や経験、研究開発力に加えて、社会・経済・文化・歴史・倫理的な知識を絶えずアップデートし、変化する社会に適合しつつ、自らも成長できる
- ✓ 自らの技術力・研究力だけに頼らず、チームや組織を立ち上げ、多くの人々の力を課題解決に向けて結集できる



### 学びの特色 Learning

学ぶ意義を理解し意欲を持って学べるような導入オリエンテーション教育とEdTechにより、当初に自らの得意・不得意・特性を客観的に把握・理解します。さらに、意欲的・能動的に学びに取り組みながら自分のめざす人物像を見定められるよう、以下のような実践的教育を提供します。

AI、IoT、ロボティクスを含んだ最先端のデジタル技術やソフトウェア工学の知識やスキルを演習やPBLなどの実践的な形式で提供し、アイデアを形にする力を養成する。

デザイン思考・工学的思考法を中心に、課題解決手法の方法論の教授と実践機会を提供し、解決策のデザイン力を養成する。

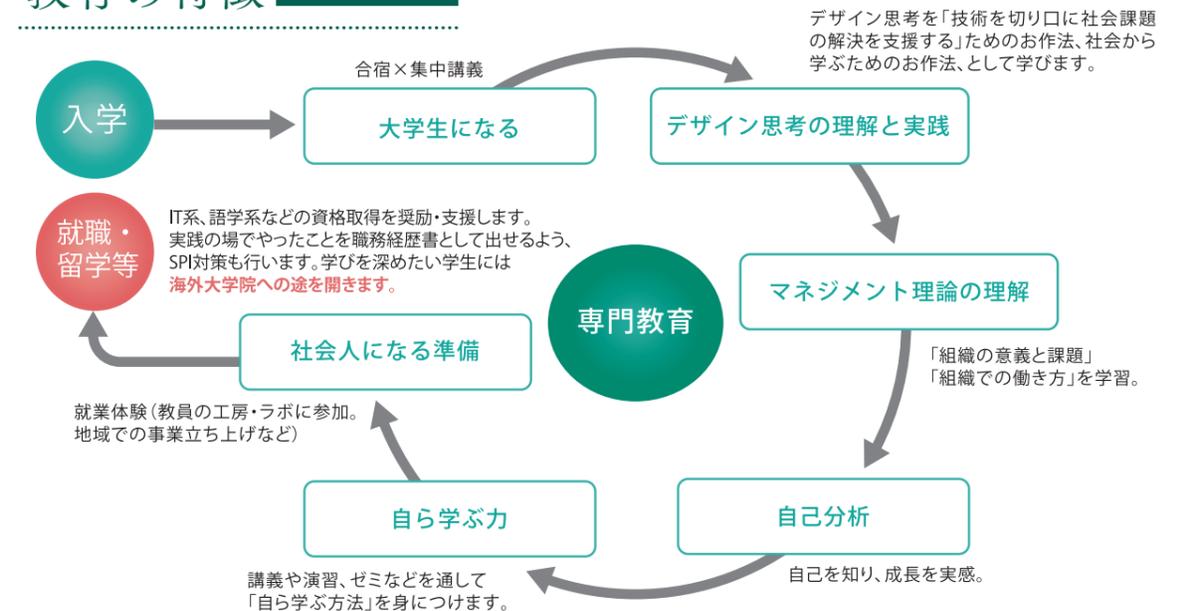
工学的知識にとどまらず、社会・経済・文化・歴史・倫理を考える機会をつくり、多角的な視座と理解力を養成する。

多様な価値観や社会的規範を前提としつつ、これからの時代に必要な技術者倫理について、自らの考えを涵養する。

生涯活用できる知識としての「学び方の学び」を提供し、自ら調べ・発表する機会を創出し、学習力を養成する。

実践的PBLの実現のために、チームで実施する演習・実習・グループワーク・ケーススタディと実践機会を適切に組み合わせ、チームワークを涵養する。

### 教育の特徴 education



### 取得可能資格

- 基本情報技術者
- ITパスポート
- 情報セキュリティマネジメント
- MOS (Microsoft Office Specialist)
- 応用情報技術者
- Python3 エンジニア認定基礎試験
- TOEIC®
- 統計検定試験 3級・2級レベル

注：麗澤大学工学部の学びを通じて身につけた能力で取得可能な資格

資料5 (千葉工業大学入学率データ)
-----------------------

■千葉工業大学の入学率

<b>2020年度入学者数</b>	<b>2021年度入学者数</b>	<b>2022年度入学者数</b>	<b>2023年度入学者数</b>
2,293	2,302	2,367	未発表
<b>2020年度合格者数</b>	<b>2021年度合格者数</b>	<b>2022年度合格者数</b>	<b>2023年度合格者数</b>
18,206	24,893	36,224	42,350
<b>2020年度入学率</b>	<b>2021年度入学率</b>	<b>2022年度入学率</b>	<b>2023年度入学率</b>
12.6%	9.2%	6.5%	-

<b>3ヶ年（2020～2022年度）平均入学率</b>
9.5%

※上記データは千葉工業大学HP、河合塾Kei-Net、河合塾への問い合わせにより取得した。

※入学率は小数第2位を四捨五入して、小数第1位まで算出した。

## 2-③ 競合分析資料の作成に向けて 必要情報① ー全体マーケット観の確認(工学部)ー

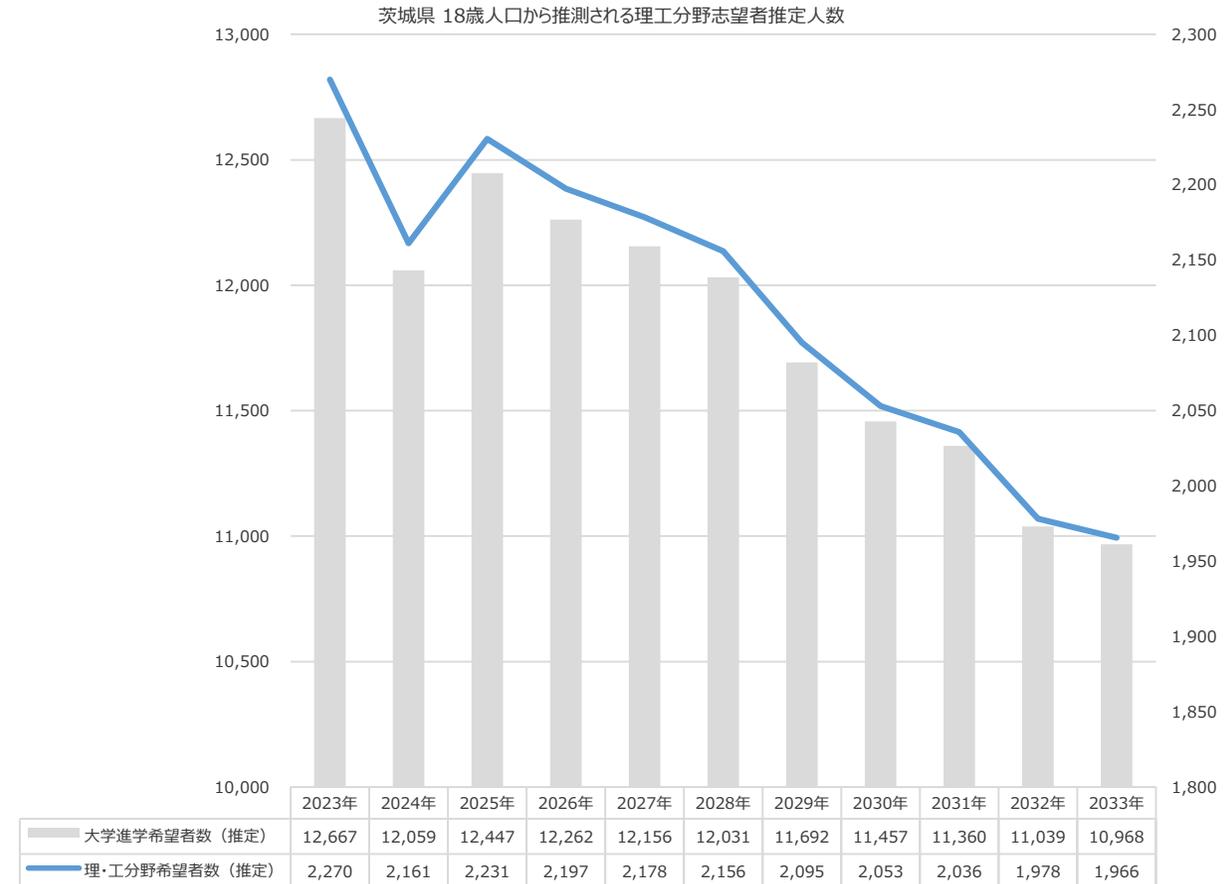
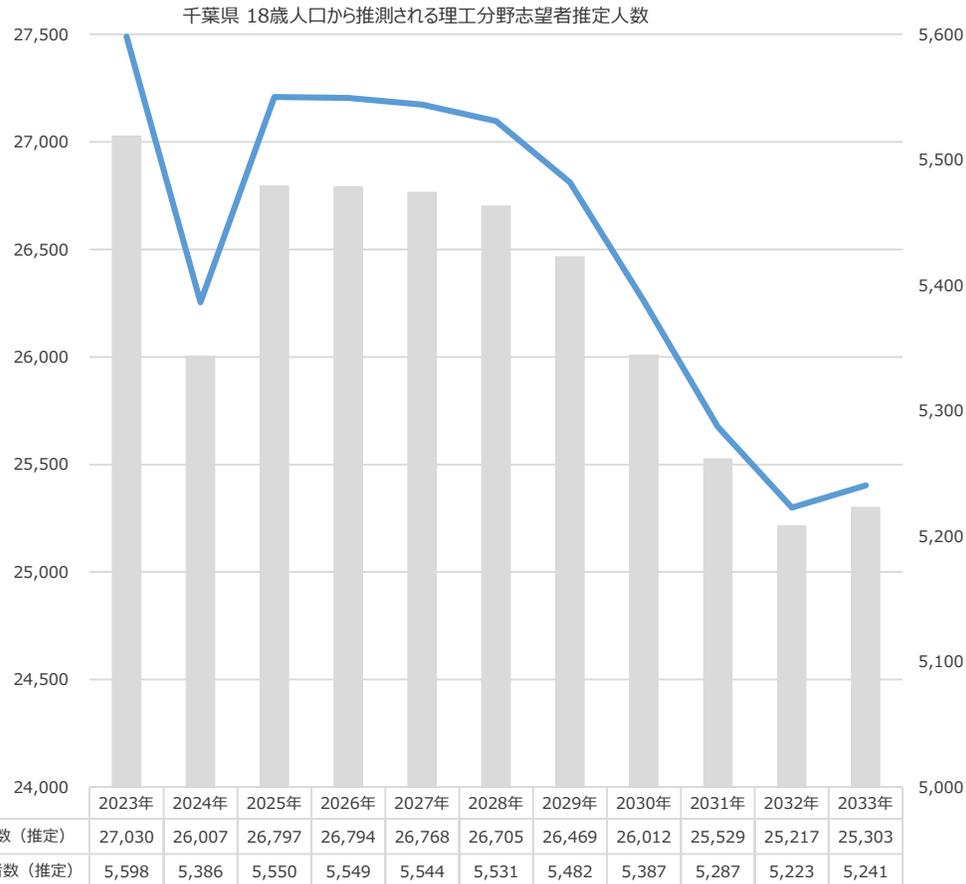
資料6  
(マーケット関係資料)

### 【千葉県×工学系】

今後10年、安定的に5,000人超の需要が見込まれる。

### 【茨城県×工学系】

現状は今後10年間2,000人前後の需要の見立て。  
ただし、現状地元での進学先が無い状態を考えると、新規供給により  
分野自体の需要を増やすこともできると見込まれる。



データ元: 文部科学省 学校基本調査 18歳人口推移  
2020年学校基本調査の都道府県別卒業生数から算出した推定系統別人数 から推計

## 2-③ 競合分析資料の作成に向けて

### 必要情報② 一都道府県別18歳人口×大学進学率×地元志向一

資料7(人口動態資料)

学校所在地である千葉県の県内進学者10,225人を土台としながら、隣接県である茨城県の県外流出者11,732人を新規需要の創出と共にターゲットに。また、同じく隣接県の埼玉県においても武蔵野線から一定の流入が見込める。さらに、麗澤大学以北では私立の理工学系学部が東北学院大学と日本大学工学部まで空白地帯となるため、特に工学部においては福島県のいわきエリアまでは十分に獲得可能性があると思込まれる。

2021年度 学校基本調査より											
	大学進学者 A	残留率 B	流出率 C(1-B)	県内進学者 D(AxB)	県外進学者 E(AxC)		大学進学者 A	残留率 B	流出率 C(1-B)	県内進学者 D(AxB)	県外進学者 E(AxC)
北海道	21,039	67.3%	32.7%	14,162	6,877	滋賀県	7,185	22.4%	77.6%	1,609	5,576
青森県	4,975	41.1%	58.9%	2,044	2,931	京都府	15,965	52.2%	47.8%	8,332	7,633
岩手県	4,460	28.3%	71.7%	1,263	3,197	大阪府	47,469	58.9%	41.1%	27,936	19,533
宮城県	9,982	56.6%	43.4%	5,652	4,330	兵庫県	29,769	44.3%	55.7%	13,184	16,585
秋田県	3,345	26.3%	73.7%	881	2,464	奈良県	7,877	14.3%	85.7%	1,129	6,748
山形県	4,097	22.6%	77.4%	924	3,173	和歌山県	4,366	17.8%	82.2%	777	3,589
福島県	7,215	22.6%	77.4%	1,629	5,586	鳥取県	2,177	15.2%	84.8%	331	1,846
茨城県	14,797	20.7%	79.3%	3,065	11,732	島根県	2,748	17.4%	82.6%	479	2,269
栃木県	9,063	24.1%	75.9%	2,184	6,879	岡山県	9,328	42.4%	57.6%	3,957	5,371
群馬県	8,971	31.9%	68.1%	2,863	6,108	広島県	14,387	53.3%	46.7%	7,666	6,721
埼玉県	35,056	29.4%	70.6%	10,303	24,753	山口県	4,706	25.8%	74.2%	1,216	3,490
千葉県	30,362	33.7%	66.3%	10,225	20,137	徳島県	3,246	36.4%	63.6%	1,183	2,063
東京都	78,180	67.6%	32.4%	52,881	25,299	香川県	4,840	17.2%	82.8%	832	4,008
神奈川県	44,498	38.7%	61.3%	17,235	27,263	愛媛県	6,144	33.1%	66.9%	2,035	4,109
新潟県	8,698	39.8%	60.2%	3,460	5,238	高知県	2,845	26.5%	73.5%	753	2,092
富山県	4,561	20.8%	79.2%	948	3,613	福岡県	22,333	65.1%	34.9%	14,541	7,792
石川県	5,607	47.8%	52.2%	2,679	2,928	佐賀県	3,455	16.6%	83.4%	573	2,882
福井県	4,104	31.2%	68.8%	1,279	2,825	長崎県	5,434	36.3%	63.7%	1,972	3,462
山梨県	5,018	24.6%	75.4%	1,233	3,785	熊本県	7,075	46.4%	53.6%	3,286	3,789
長野県	9,269	20.4%	79.6%	1,887	7,382	大分県	4,091	26.4%	73.6%	1,082	3,009
岐阜県	9,760	22.0%	78.0%	2,146	7,614	宮崎県	4,180	25.8%	74.2%	1,078	3,102
静岡県	16,879	28.5%	71.5%	4,805	12,074	鹿児島県	6,126	33.5%	66.5%	2,051	4,075
愛知県	38,573	71.3%	28.7%	27,501	11,072	沖縄県	7,002	45.9%	54.1%	3,216	3,786
三重県	7,864	22.2%	77.8%	1,749	6,115						